



## 平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年1月23日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社  
 (URL <http://www.zeria.co.jp/>)

(コード番号：4559 東証第1部)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 伊部 幸顕  
 責任者役職・氏名 取締役広報部長 森山 茂

(TEL: (03)-3661-1039)

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (内容) 減価償却の方法、法人税等の計上基準等
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

## (1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	42,833	0.5	1,467	△25.8	1,390	△14.9	1,031	30.6
17年3月期第3四半期	42,634	3.2	1,977	—	1,634	—	789	—
(参考)17年3月期	56,209		2,422		1,999		1,385	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	24.12	—
17年3月期第3四半期	17.97	—
(参考)17年3月期	31.77	—

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。

2. 売上高以外の項目につきましては、前第3四半期より開示を行っているため、前年同四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## [経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期までの我国経済は、企業収益の改善に向かい、設備投資が引き続き拡大傾向にありましたが、一方で、原油価格の高騰などにより不透明感が増しております。また、個人消費に関しても依然として緩やかな回復にとどまりました。

このような情勢の中で、医療用医薬品部門におきましては、最重点領域である消化器用薬に営業活動を注力した結果、H2受容体拮抗剤「アシノンカプセル」、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック顆粒15%」は増加いたしました。しかしながら、胃炎・胃潰瘍治療剤「マーズレン-S顆粒・ES錠」は市場競争の激化により減少いたしました。

一方、コンシューマーヘルスケア部門におきましては、ゼリアフランチャイズストア連盟加盟店を中心に、セルフプリベンション（予防）を指向した製品供給により市場構築を強力に推進してまいりました。なかでも主力製品群である「コンドロイチン群」は引き続き大幅に伸張（前年同期比40%増）しております。また、医薬品ドリンク剤「ハイゼリーB群」におきましてもノンシュガー低カロリー品の市場投入などにより、順調な推移を示しております。

また、医療用医薬品の新薬パイプラインにおきましては、機能性胃腸症治療剤Z-338、炎症性腸疾患治療剤Z-206などの臨床開発の進捗により、研究開発費は前年同期比で約18%増大いたしました。

以上のような活動の結果、当第3四半期の売上高は428億33百万円、利益につきましては経常利益は13億90百万円となり、退職給付信託設定益4億83百万円を特別利益に計上しましたので、四半期純利益は10億31百万円となりました。

## (2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨表示)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	56,645	29,417	51.9	688.62
17年3月期第3四半期	57,403	27,412	47.8	641.75
(参考)17年3月期	55,162	27,715	50.2	652.45

(百万円未満切捨表示)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	△400	△762	20	1,643
17年3月期第3四半期	598	△7,924	7,938	2,752
(参考)17年3月期	3,468	△8,109	5,303	2,790

## [財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は前年同四半期と比較して、7億57百万円減少しましたが、株主資本は20億4百万円増加、株主資本比率は4.1%増加いたしました。

増減の主なものは、流動資産では現金及び預金が11億9百万円減少し、受取手形及び売掛金が2億83百万円減少しております。固定資産では評価差額金の増加等により投資有価証券が20億62百万円増加し、繰延税金資産が10億86百万円減少しております。

流動負債では短期借入金が57億68百万円減少しております。固定負債では社債を10億円発行し、長期借入金が28億33百万円増加しておりますが、退職給付引当金が7億91百万円減少しております。

また、資本の部は20億4百万円増加いたしました。

## (キャッシュ・フロー計算書)

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の減少は4億円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が17億47百万円となり、売上債権の増加額15億59百万円、仕入債務の増加額1億76百万円、法人税等の支払額11億57百万円等によるものであります。

なお、売上債権の増加につきましては、第4四半期中に改善の見込みであります。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は7億62百万円となりました。これは、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出7億38百万円、投資有価証券の取得による支出95百万円等によるものであります。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の増加は20百万円となりました。これは、短期借入金の返済による純減額21億90百万円及び長期借入れによる収入20億円等によるものであります。

## 3. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	58,000	2,100	1,500

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 34円90銭

## [業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては、平成17年11月15日発表の数値を訂正しておりません。

[添付資料]

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円,端数切捨て)

科 目	期 別		当第3四半期末		(参考)前連結会計年度	
	前第3四半期末		(平成17年12月31日現在)		(平成17年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
( 資 産 の 部 )		%		%		%
I 流 動 資 産						
1. 現 金 及 び 預 金	2,884		1,774		2,922	
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金	17,991		17,707		16,133	
3. た な 卸 資 産	3,664		3,770		3,935	
4. 繰 延 税 金 資 産	887		978		904	
5. そ の 他	1,891		1,847		1,420	
貸 倒 引 当 金	△69		△44		△56	
流 動 資 産 合 計	27,249	47.5	26,034	46.0	25,260	45.8
II 固 定 資 産						
1. 有 形 固 定 資 産						
建 物 及 び 構 築 物	5,072		4,822		4,980	
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	806		758		784	
土 地	9,338		9,346		9,338	
そ の 他	303		379		301	
有 形 固 定 資 産 合 計	15,521	27.0	15,307	27.0	15,404	27.9
2. 無 形 固 定 資 産	980	1.7	1,163	2.0	1,274	2.3
3. 投 資 そ の 他 の 資 産						
投 資 有 価 証 券	6,104		8,167		6,625	
長 期 前 払 費 用	4,940		4,352		4,808	
繰 延 税 金 資 産	1,109		22		915	
そ の 他	1,655		1,744		1,033	
貸 倒 引 当 金	△158		△147		△160	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	13,651	23.8	14,140	25.0	13,222	24.0
固 定 資 産 合 計	30,153	52.5	30,611	54.0	29,901	54.2
資 産 合 計	57,403	100.0	56,645	100.0	55,162	100.0
( 負 債 の 部 )						
I 流 動 負 債						
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金	7,305		7,378		7,201	
2. 短 期 借 入 金	14,264		8,496		10,319	
3. 賞 与 引 当 金	687		712		985	
4. 返 品 調 整 引 当 金	253		237		243	
5. 売 上 割 戻 引 当 金	431		418		408	
6. そ の 他	3,191		3,115		3,582	
流 動 負 債 合 計	26,135	45.5	20,359	36.0	22,741	41.2
II 固 定 負 債						
1. 社 債	—		1,000		—	
2. 長 期 借 入 金	1,245		4,078		2,827	
3. 退 職 給 付 引 当 金	2,332		1,540		1,593	
4. 役 員 退 職 慰 労 引 当 金	205		181		212	
5. そ の 他	72		68		72	
固 定 負 債 合 計	3,855	6.7	6,869	12.1	4,706	8.6
負 債 合 計	29,990	52.2	27,228	48.1	27,447	49.8
( 少 数 株 主 持 分 )	—	—	—	—	—	—
( 資 本 の 部 )						
I 資 本 金	6,593	11.5	6,593	11.6	6,593	11.9
II 資 本 剰 余 金	5,397	9.4	5,414	9.6	5,397	9.8
III 利 益 剰 余 金	20,121	35.1	21,065	37.2	20,717	37.5
IV そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,172	2.0	2,232	3.9	1,137	2.1
V 自 己 株 式	△5,872	△10.2	△5,888	△10.4	△6,130	△11.1
資 本 合 計	27,412	47.8	29,417	51.9	27,715	50.2
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	57,403	100.0	56,645	100.0	55,162	100.0

## 2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円,端数切捨て)

科 目	期 別	前第3四半期 (自 平成16年 4月 1日 至 平成16年12月31日)		当第3四半期 (自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成16年 4月 1日 至 平成17年 3月31日)	
		金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
I 売 上 高		42,634	100.0	42,833	100.0	56,209	100.0
II 売 上 原 価		20,471	48.0	20,490	47.8	26,850	47.8
返品調整引当金戻入額		△11	△0.0	△5	△0.0	△22	△0.1
売 上 総 利 益		22,174	52.0	22,348	52.2	29,380	52.3
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		20,197	47.4	20,881	48.8	26,958	48.0
営 業 利 益		1,977	4.6	1,467	3.4	2,422	4.3
IV 営 業 外 収 益		119	0.3	179	0.4	141	0.3
1. 受 取 利 息 及 び 配 当 金		91		103		93	
2. そ の 他		27		75		48	
V 営 業 外 費 用		462	1.1	255	0.6	564	1.0
1. 支 払 利 息		76		97		112	
2. そ の 他		386		158		451	
経 常 利 益		1,634	3.8	1,390	3.2	1,999	3.6
VI 特 別 利 益		6	0.0	494	1.2	595	1.0
1. 退 職 給 付 信 託 設 定 益		-		483		579	
2. 貸 倒 引 当 金 戻 入 額		4		-		13	
3. 投 資 有 価 証 券 売 却 益		2		10		2	
VII 特 別 損 失		20	0.0	137	0.3	24	0.0
1. 固 定 資 産 売 却 ・ 除 却 損		7		15		7	
2. 固 定 資 産 評 価 損		-		102		4	
3. 退 職 加 算 金		12		19		12	
税金等調整前四半期(当期)純利益		1,621	3.8	1,747	4.1	2,570	4.6
法 人 税 等		831	1.9	716	1.7	1,185	2.1
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益		789	1.9	1,031	2.4	1,385	2.5

### 3. 四半期連結剰余金計算書

(単位:百万円,端数切捨て)

期 別 科 目	前第3四半期 (自 平成16年 4月 1日 至 平成16年12月31日)		当第3四半期 (自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成16年 4月 1日 至 平成17年3月31日)	
	金 額		金 額		金 額	
(資本剰余金の部)						
I 資本剰余金期首残高		5,397		5,397		5,397
II 資本剰余金増加高						
自己株式処分差益	-	-	17	17	-	-
II 資本剰余金四半期末(期末)残高		5,397		5,414		5,397
(利益剰余金の部)						
I 利益剰余金期首残高		20,040		20,717		20,040
II 利益剰余金増加高						
四半期(当期)純利益	789	789	1,031	1,031	1,385	1,385
III 利益剰余金減少高						
配 当 金	708	708	682	682	708	708
IV 利益剰余金四半期末(期末)残高		20,121		21,065		20,717

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円,端数切捨て)

科 目	期 別	前第3四半期	当第3四半期	(参考) 前連結会計年度
		(自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益		1,621	1,747	2,570
2. 減価償却費		715	1,074	1,080
3. 売上債権の増減額(増加は△)		△ 913	△ 1,559	942
4. たな卸資産の増減額(増加は△)		31	165	△ 240
5. 仕入債務の増加額		789	176	686
6. その他		△ 559	△ 853	△ 484
小計		1,686	751	4,554
7. 法人税等の支払額		△ 1,102	△ 1,157	△ 1,065
8. その他		15	5	△ 21
営業活動によるキャッシュ・フロー		598	△ 400	3,468
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
1. 有形固定資産の取得による支出		△ 377	△ 363	△ 432
2. 無形固定資産の取得による支出		△ 860	△ 375	△ 867
3. 投資有価証券の取得による支出		△ 1,723	△ 95	△ 1,849
4. 投資有価証券の売却等による収入		12	121	13
5. 長期前払費用に係る支出		△ 5,000	△ 63	△ 5,003
6. その他		24	13	28
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 7,924	△ 762	△ 8,109
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
1. 短期借入金純増減額		10,865	△ 2,190	6,545
2. 長期借入れによる収入		76	2,000	2,120
3. 長期借入金の返済による支出		△ 80	△ 382	△ 167
4. 社債発行による収入		—	1,000	—
5. 自己株式の処分による収入		—	544	—
6. 自己株式の取得による支出		△ 2,229	△ 287	△ 2,488
7. 配当金の支払額		△ 692	△ 663	△ 705
財務活動によるキャッシュ・フロー		7,938	20	5,303
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 37	△ 5	△ 49
V 現金及び現金同等物の増減額(減少は△)		574	△ 1,147	612
VI 現金及び現金同等物の期首残高		2,178	2,790	2,178
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		2,752	1,643	2,790

## 5. 四半期連結事業部門別売上高

(単位：百万円, 端数切捨て)

事業部門の名称		前第3四半期	当第3四半期	対前年同期比	前連結会計年度
		(自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
医薬品事業	医療用医薬品部門	25,670	25,155	△2.0%	33,967
	コンシューマーヘルスケア部門	16,816	17,516	4.2%	22,048
	小計	42,486	42,672	0.4%	56,016
その他の事業		147	161	9.0%	192
合計		42,634	42,833	0.5%	56,209

新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

2006.01.23現在

1) 消化器系分野

開発段階	開発番号	開発形態	適応症	作用機序等	備考
申請中	Z-205	自社（導入）	大腸内視鏡前 腸管洗浄剤	腸管洗浄剤	
	Z-103	自社（導入）	胃潰瘍	口腔内崩壊錠	剤型追加
フェーズⅢ	Z-206	自社（導入）	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調節剤	
	Z-206	自社（導入）	クローン病	pH依存型放出調節剤	
フェーズⅢ準備中	Z-103/ プロマック顆粒	自社（導入）	味覚障害	亜鉛補充	効能追加
フェーズⅡ	Z-338	自社	機能的胃腸症	上部消化管運動改善作用	
フェーズⅠ 準備中	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニン受容体拮抗作用	

2) その他の分野

開発段階	開発番号	開発形態	適応症	作用機序 及び 特長	備考
申請中	ZC-102/ ペオン錠	共同開発 (日本ケミファ)	急性上気道炎	シクロオキシゲナーゼ阻害作用	効能追加
フェーズⅢ 追加試験	Z-100/ アンサー注	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	効能追加

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号	開発形態	適応症	作用機序 及び 特長	備考
フェーズⅡ (欧州)	Z-338	自社	機能的胃腸症	上部消化管運動改善作用	
フェーズⅡ (北米)	Z-338	共同開発 (アステラス製薬)	機能的胃腸症	上部消化管運動改善作用	
フェーズⅠ 準備中 (米国)	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニン受容体拮抗作用	
フェーズⅠb/Ⅱa (英国)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリン受容体拮抗作用	